

# 独立峰の火山に広がる固有の植物群落

御岳 生物群落集保護林

## 設定目的

御岳山（三、〇六七<sup>メートル</sup>）の山頂周辺には、特徴的な火山地形・地質がみられ、それに起因する雪田植生等の希少な植物群落や、亜高山帯から高山帯にかけての典型的な森林の垂直分布がみられます。

これら地域固有の森林生態系の保護・管理を一体的に行っています。

## 地況・林況

御岳山は独立峰としては我が国で二番目に標高が高く、山頂周辺はカルデラや火口湖等の火山地形や、周氷河地形等の特徴的な地形が広がっています。

高山帯にはハイマツ林や雪田植生、矮小植物群落が形成され、ライチョウの生息地となっています。亜高山帯上部にはダケカンバ林が広がり、標高が下がるにつれてシラビソ・オシラビソ群集、コメツガ群落が垂直分布しています。

九歳峠展望台から望む御岳山

シリーズ

中部の保護林(第25回)

## 所在地

長野県 木曾郡 王滝村、木曾町  
岐阜県 高山市、下呂市



岡ノ原登山道七合目周辺から山頂方面を望む。  
2020年10月の保護林の様子

※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。

